

湖青二丁目自治会だより

＊＊ 会員の皆様へ ＊＊

1. 小野学区自治連合会からのお知らせ

- ① 6月8日（日）の琵琶湖市民清掃では、天候にも恵まれ、怪我もなく、無事に終了することができました。皆様、ご苦労様でした。湖青二丁目は106名、小野学区全体で1,000名の方が参加していただきました。ここに、感謝いたします。
- ② 7月に空き家・空地調査を行う予定ですので、ご協力をお願いします。湖青二丁目は空き家率が高く、今後も環境整備も含めて調査を継続していきたいと思っております。
- ③ 自主防災会が、7月21日（月）海の日に小野支所で「救急救命訓練」を実施予定です。参加希望の方は、最寄りの班長までお申し出ください。
- ④ 熊の目撃情報が相次いでおります。山に入る方は、ご注意ください。
- ⑤ 秋の区民体育祭は、10月12日（日）実施予定で、雨天の場合は、体育館内で実施します。延期はしない予定です。

2. 班長会議からのお知らせ

6月21日（土）午後6時より第3回班長会議を開催しました。各種議案について議論しましたが、本年の今後の自治会活動について、以下の協議を行いました。

- ① 今年度の「ふれあい事業」として10月19日（日）午後に「秋のふれあい会」を計画しておりますが、他の行事との関係で予備日10月26日（日）とする予定です。
- ② 昨年度に引き続き、自治会館をより積極的に活用するために、いくつかのサロン活動を計画しております。具体的には、以下の通りですが、決定したものからチラシ等でお知らせします。
 - ・ 7月27日（日）AM8：30～10時 「野菜朝市」（決定）
 - ・ 8月17日（日）AM10～PM20時 子供水遊び大会と花火大会（夕方）
 - ・ 10月5日（日）午後 バイオリンと琴のデュオライブ公演（決定）
 - ・ 11月16日（日）PM2～4時 大津ソフォニックバンドライブ公演（決定）
- ③ 防火・防災委員からの報告
消火栓・ホース使用訓練を9月6日（土）午前に行う予定で調整中です。奮ってご参加ください。詳細はまたこの自治会だよりでお知らせします。
 - ・ 9月6日（土）午前10時～：湖青北公園横 消火栓・ホース模擬訓練
 - ・ 湖青北公園の防災ベンチを新装しました。（別途写真参照）
 - ・ 今年度は、消火器5台を更新します。
- ④ 自治会会則と自治会館使用規定の配付
上記最新資料を、7月回覧で各戸配付予定です。

会 長 藤 村 記

自治会活動報告

*琵琶湖市民清掃

さる6月8日(日)午前、小野学区全体で恒例の市民清掃が行われました。学区全体で約1,000名の方々に参加いただき、より一層、街がきれいになりました。今後とも、環境整備活動へのご協力をお願い申し上げます。



*湖青二丁目北公園 防災ベンチの新装

市民清掃後の6月8日(日)午後、湖青北公園で防災ベンチの新装を行いました。古いベンチは、13年持ちこたえてくれましたが、痛みが激しく、お子さんが怪我をする可能性も出てきましたので、何でもお助け隊の力を借りて、新装しました。当初は、小学生の参加も募ったのですが、残念ながら一人の参加も見られず、60~70年前のお子さんたちで、廃棄と新装を行いました。今後も、定期的な塗装で、維持していきたいと思います。



*湖青二丁目を美しくする会 活動紹介

令和3年度よりボランティアグループ「湖青二丁目を美しくする会」は大津市認定団体となって、銀杏並木通りやあかみち沿いの街路樹下の花壇化に取り組んでおられます。令和4年度からは、「里親制度」を取り入れて、外周道路につきましては街路樹の花壇化がほぼ完了したようです。

ただし、雑草は容赦なく生えてきますし、水やり等、日頃の手入れをしないとすぐに枯れてしまいます。湖青二丁目を美しくする会のみなさんに頼るだけでなく、気がつきましたら、日頃の手入れも手伝っていただくと幸いです。

なお、このような活動を支援するため、自治会でも可能な限り費用的な補助を行っていますので、どうかご理解と共に、ご協力をお願いします。また、同会の活動に参加していただける方や、里親になっていただける方を募集しております。我はと思う方、会長藤村（090-7498-4400, 594-8041）か、班長にお知らせください。



マツバギク



ガザニア



←↑タマスダレ

➤ ガザニア

ガザニアとは、キク科ガザニア属の総称。原種は15種ほどある。Gazaniaの名は、アリストテレスなどのギリシャの古典書物をラテン語に翻訳したギリシャ人「ガザ」の名前に由来します。

半耐寒性の多年草で暖地では宿根草になるが、日本の寒い地域では冬に枯れてしまい、暖地では夏の高温多湿で弱るため、1年草として扱われています。宿根ガザニアとして販



売されている種は耐暑性、耐寒性に優れ日本でも多年草として栽培し易いのが特徴です。草丈15-40cmくらい、葉は根生で切れ込みのあるへら形、表は濃緑色で光沢があるが、裏は真っ白な柔毛がある。斑入りの品種もあります。地下茎から新しい茎が匍匐してよく広がり、乾燥には強い。増やし方は、株分け、種まき、さし芽で増やすことができ、湖青二丁目を美しくする会では主にさし芽で増やしている。

➤ マツバギク

葉と花の形から「マツバギク（松葉菊）」と呼ばれ、「台湾ぎく」とも呼ばれます。多肉質の細長い葉が密生し、キクのような花を咲かせます。多種多様で似たようなものも多く、どこまでをマツバギクと呼ぶかは明確ではないようです。いろいろな種類が「マツバギク」の名前で流通し、品種名はなく、商品名がさまざまあります。日照が多く乾燥した気候を好みます。増やし方は、さし芽が容易です。



➤ タマスダレ

タマスダレは、ヒガンバナ科のタマスダレ属（ゼフィランサス属）に属するペルー原産の植物です。ユリやチューリップと同じように、球根を植えて芽を出します。タマスダレは別名を「レインリリー」といい、乾燥した土に雨が降ると一気に花が咲くのが名前の由来です。和名であるタマスダレは、白くてきれいな白い花が宝石に似ていることから「タマ」、細長い葉が密集している姿を「スダレ」に例えたのが由来といわれています。タマスダレの花が咲く



のは、夏から秋です。繁殖力が強く、一度植えれば分球やこぼれ種から一気に増えていきます。丈夫で病気にもかかりにくく、日本の気候とも相性が抜群のため、いたるところで咲いている姿を見かけます。真っ白な花びらと細長い葉が密集して咲いている姿はかわいらしいですが、タマスダレには食中毒性の毒があるため、食用の植物と間違えないようにしましょう。